

Social medical corporation hokuto

★広報誌★

ほくと7

seven

64

VOL.

6月号

<http://www.hokuto7.or.jp>

特集

早期診断プロジェクト
膵がん



広報誌リニューアルしました。



広報活動とは

社会医療法人北斗
理事長 鎌田 一

1993年1月18日、私たちは地方都市帯広を中心とする一行政区に過ぎなかった十勝の地において、熱い思いが籠った一歩を踏み出しました。しかし私たちが歩み始めたその時代は、1985年より開始された医療政策の大転換期、すなわち病院・病床の総量規制の本格的開始がなされて8年が経過した時代に絡めとられていました。従って、救急医療に軸足を置いた医療を展開するのみでは、医療に求められる需要に応えることはできないことを、さらに求められる

医療コンセプトが【第二次予防医療（発症前診断・発症前治療）】であることを、それ以前に勤務していた病院における医療活動の中で私と仲間たちは理解してしましました。そして、この【第二次予防医療】を展開して行く中で、それが21世紀の医療のコアとなつてゆくことを強く確信して行くことにもなりました。そして、この様な結果を生み出す医療活動を根底から支えていたものが【啓発活動・広報活動・組織活動・事業活動】であったと学び取るようになります。10年が経過した2004年、日本経済新聞社が未破裂脳動脈瘤に関する全国の脳外科施設の格付け評価を行いました。そして、当院が名だたる多くの施設を抑え最上位の評価を受けることになりました。それから4年が経過し、2008年に全世界の金融システムを揺さぶり、社会の基本構造をも転換して行くことになる【リーマン・ショック】に端を発する

【世界金融危機】に直面することになりました。そしてそれは医学・医療そのものに対しても本質的な変容を迫りました。その時代の中で、私たちは5年前にNGSを導入し個別化医療の展開を開始しました。そして現段階ではがん・ゲノム医療を実践する数少ない医療機関の一つとなっています。

またDigital Pathology, Digital PET, MEG, EHRなどIoTから得られる膨大なDataを集積・解析(AIも活用した)し、患者さんが個々に求める需要に対して応えて行く医療を【Precision Medicine (精密医療)】と捉え、【革新に満ちた医療への挑戦と新たな組織価値の創造】を不断に実現してきています。HealthcareにおけるIndustrial 4を【Precision Medicineの構築】として実践しているのです。この過程を支え創造して行くものが広報・組織活動であると考えます。

創刊から23年目、新しい
広報誌をお楽しみください

社会医療法人北斗
連携推進部長

久保田 亨

1995年の「ぷらざ」創刊以来、通算63号を数えました院外報をリニューアル致しました。社会医療法人北斗の『いま』を、より早く・分かり易く・楽しくお伝えする誌面づくりを目指します。これからも興味をもって私たちの活動を見守って頂ければ幸いです。



平成7年4月発行
広報誌ぷらざ創刊号

各センターのご紹介

自己完結的医療組織から地域完結型医療組織へ

多職種から構成されるチーム医療を基礎に創り上げられるセンター化構想は革新的な医療への挑戦を通じて、目指されるべきセンターへと徐々に組織化されてきています。

お互いの信頼関係を元に強固な協力体制を敷き、数多くの革新的なプロジェクトを各センターにおいて推し進めています。

2018.6.1
新設

消化器センター

センター長
田中 卓
副センター長
河瀬 智哉・木田 裕之

脊椎脊髄センター

センター長
橋本 郁郎

脳卒中センター

センター長
新田 一美
副センター長
金藤 公人・古川 博規

ハートセンター

センター長
藤松 利浩
副センター長
小栗 淳

透析センター

センター長
藤松 利浩

脳血管内治療センター

センター長
西尾 明正
副センター長
黒岩 輝壮

頭頸部腫瘍センター

センター長
坂東 伸幸
副センター長
後藤 孝・牧野修治郎

救急部

部長
井出 渉
副部長
赤津 智也

乳腺・乳がんセンター

センター長
川見 弘之

小児科こども総合センター

センター長
人見 知洋
副センター長
西村 洋一

関節センター

センター長
石田 直樹

検診センター

センター長
金藤 公人

臨床研究支援センター

センター長
金藤 公人
副センター長
鳴原 良仁

在宅緩和療養センター

センター長
蘆野 吉和

地域包括ケア推進センター

センター長
蘆野 吉和

十勝リンパ浮腫治療センター

センター長
蘆野 吉和
副センター長
川見 弘之

精密医療センター

センター長
鳴原 良仁

医師のご紹介

診療科	職名	医師名	専門分野
整形外科・ リウマチ科	北斗病院副院長/主任部長	石田 直樹	膝関節及び下肢全般
	部長	木村 長三	手外科専門医
	主任医長	中村 聡喜	股関節
	医長	清水 智	整形外科一般
	外来部長	土居 隆	骨粗鬆症、整形外科一般
	医師	関口イワン	脊椎外科、整形外科一般
	顧問/新得クリニック院長	計良 基治	膝関節及び下肢全般
耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	北斗病院副院長/部長	坂東 伸幸	頭頸部外科、甲状腺、めまい、アレルギー
	部長	後藤 孝	耳鼻咽喉科一般
形成外科	医師	市川 晴之	耳鼻咽喉科一般
	医師	杉井 政澄	形成外科一般
小児科	北斗病院副院長/センター長	人見 知洋	発達、心身症、喘息
	副センター長	西村 洋一	小児一般、小児救急
	医長	人見会美子	小児一般、アレルギー疾患
緩和医療科	部長	蘆野 吉和	緩和ケア(がん・非がん)、がん相談
	医長	石橋 和也	在宅緩和医療
総合診療科	部長	蘆野 吉和	プライマリケア、総合診療、緩和ケア
	医長	石橋 和也	総合診療
	医師	朝日 淳仁	プライマリケア、耳鼻咽喉科一般、内科救急
	医師	向井 耕一	総合内科、救急専門医
	十勝リハ院長	竹田 晴男	リハビリテーション
麻酔科	部長	大島 勉	手術麻酔、ペインクリニック
	医長	古賀夕紀子	麻酔一般
	医師	山縣 文	麻酔一般、小児麻酔
	医師	田邊 仁志	麻酔一般
	医師	金沢 雅	麻酔一般
	医師	宇野 聡浩	麻酔一般
病理・遺伝子診断科	科長	西原 広史	病理、遺伝子診断
	医師	加藤 容崇	遺伝子診断
精密医療センター	センター長	嶋原 良仁	神経機能画像検査(functional Neuroimaging)、脳磁図検査、視覚生理学、Statistical Parametric Mapping (SPM)
検診科	部長	河崎 任利	人間ドック健診専門医
	医長	赤津 智也	循環器一般、指定航空身体検査医
施設担当医	老健かけはし施設長	高橋 聰	※外来診療は行っていません
歯科・歯科口腔外科	部長	牧野修治郎	口腔がん、顎口腔再建
	副部長	高野 昌士	口腔外科専門医・口腔がん・再建手術
	医長	深沢 亨	義歯作製
	医長	佐藤 健彦	口腔外科専門医、外科矯正、有病者歯科
	医師	斎藤 恒夫	口腔外科、歯科麻酔
	医師	和田麻友美	口腔外科(日本口腔外科学会認定医)・口腔顎顔面外傷
	医師	籠島 弘子	高齢者歯科、訪問歯科

診療科	職名	医師名	専門分野
脳神経外科	理事長	鎌田 一	脳腫瘍、脳血管障害一般
	副理事長	橋本 郁郎	脳腫瘍、脳血管障害一般、脊椎外科
	北斗病院院長	井出 渉	脳血管障害一般
	北斗病院副院長	新田 一美	脳血管障害一般
	北斗病院副院長	西尾 明正	脳血管障害一般、脳血管内治療
	副部長	古川 博規	脳血管障害一般、脊椎外科
	医長	天白 晶	脳血管障害一般、機能外科、脳腫瘍
	医師	黒岩 輝壮	脳血管障害一般、脳血管内治療
	医師	前田 大介	脳血管障害一般、脊椎外科
	医師	野老山博紀	
	医師	吉田 道春	脳腫瘍
	医師	今岡 幸弘	脳血管障害一般
	医師	坂本 竜司	脳神経外科一般
	十勝リハ副院長	佐土根 朗	リハビリテーション、在宅医療、プライマリケア
脳神経内科	北斗病院副院長 部長	金藤 公人	脳卒中・神経内科一般、ふるえやパーキンソン病の超音波治療、認知症、神経リハビリテーション
心臓血管外科 人工透析内科	北斗病院副院長/部長	藤松 利浩	心臓外科一般、大血管
	病棟医長	岡野 龍威	心臓外科一般
	医師	川谷 洋平	心臓外科一般
	医師	大友 勇樹	心臓外科一般
循環器内科	主任部長	小栗 淳	循環器内科、虚血性心疾患、弁膜症、末梢血管治療
	医長	高橋 一泰	循環器一般
	医師	窪田 雅之	循環器一般
消化器科 腫瘍外科 外科	主任部長	田中 卓	消化器一般、大腸肛門領域
	部長	山口 聖隆	消化器外科、外科一般
	外科部長	山口 智仁	消化器外科、外科一般
	医師	木田 裕之	消化器外科、外科一般
	胆膵部門医長	河瀬 智哉	胆膵及び消化器一般
	医師	友田 博行	消化器一般
肛門外科	部長	田中 卓	消化器科併任
乳腺外科	北斗病院副院長/部長	川見 弘之	乳腺外科
	医師	鈴木 恵	乳腺外科
	特別顧問	難波 清	乳腺専門医
外科・内科	あおぞらクリニック院長	林 秀雄	総合診療
内科	上土幌クリニック院長	小泉 洋一	内科一般
	上土幌クリニック副院長	川原 義典	内科一般
核医学診断科	部長	加藤 誠一	PET
放射線診断科	部長	広村 忠雄	放射線診断
放射線治療科	部長	宮本 顕彦	放射線治療
	医師	相川 剛亮	放射線治療

New Face

新しく11名の医師が着任しました。



心臓血管外科
岡野 龍威
Okano Ryoui



心臓血管外科
大友 勇樹
Ootomo Yuuki



心臓血管外科
川谷 洋平
Kawatani Youhei



脳神経外科
今岡 幸宏
Imaoka Yukihiro



総合診療科
朝日 淳仁
Asahi Atsuyoshi



形成外科
杉井 政澄
Sugii Masazumi



消化器科
木田 裕之
Kida Hiroyuki



循環器内科
窪田 雅之
Kubota Masayuki



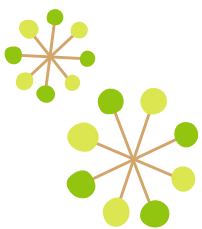
歯科口腔外科
籠島 弘子
Kagoshima Hiroko



耳鼻咽喉科
市川 晴之
Ichikawa Haruyuki



総合診療科
向井 耕一
Mukai Kouichi



ガンバります！

北斗病院 研修医	王 光敏	張 爽	橋本 博興
	曹 博	西村 拓朗	
	張 雨萌	李 東	



診療科紹介

消化器センター

当院の消化器科は平成11年から始まり、徐々に人員が増え、現在外科内科合わせて6名体制となっています。経歴はさまざまですが得意分野もそれぞれに持っているそれなりの年限の医師たち(良く言うと渋い、本音を言うとおっさんばかり(笑泣))です。今年「消化器センター」も新設されました。消化器系のお仕事あればいつでもご用命ください。お待ちしております。(消化器センター センター長 田中 卓)



医師
友田 博行

副センター長
木田 裕之

消化器科主任部長
センター長
田中 卓

消化器科
部長
山口 聖隆

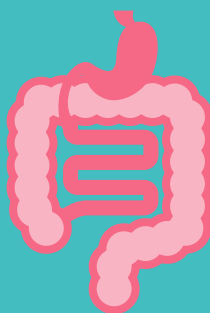
消化器科
外科部長
山口 智仁

胆膵部門医長
副センター長
河瀬 智哉

消化器系を徹底検査

北斗病院の
人間ドック

消化官の状態を知りましょう



検査に関するご予約・お問い合わせ

北斗検診センター

直通TEL 0155

47-7777

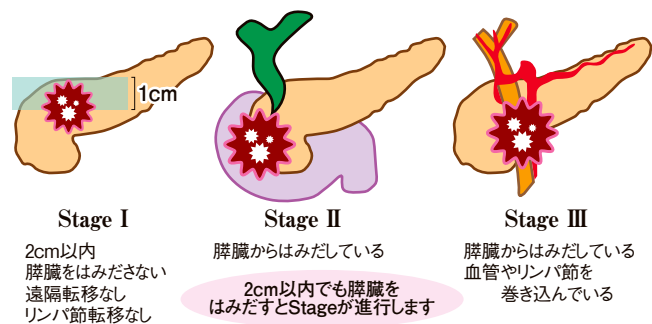
●受付時間/平日▶9:00~17:00

始することが多いため、未だ十分な治療成績が得られていません。また膵がんの細胞自身の悪性度(たちのわるさ)が高いことも一因です。これらの理由から膵臓がんの5年生存率は10%未満であり、他の5大がんと比較しても厳しい状況が続いています。

一ただでさえ厳しい状況のようにしか聞こえない膵がんですが、長期の予後を与えるためになにか解決の糸口はないのでしょうか？

あります。今年に入り日本から世界に発信した報告になりますが、国内で膵がんの早期診断に力を入れている14施設で早期に膵がんを診断し治療することができた症例をまとめたものがあります。それによりますと、膵がんのステージ(国際対がん連合:UICC)でStage Iのなかでも、がんの大きさが1cm未満状態で手術ができれば10年生存率(5年ではない)が93.8%以上でありました。また1cmを越えてしまっても2cm以内でStage Iの状態であれば10年生存率で78.9%の生存率を得ることがわかりました。

ここで注意しないといけません、たとえ2cm以内の大きさであってもStage Iであることが重要です。膵臓からはみだり、太い血管の近く(門脈や動静脈)やリンパ節転移などをみとめる場合Stageがあがってしまいます。

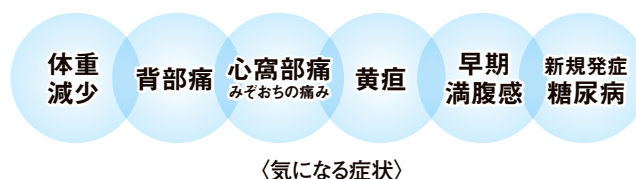


一他のがんと同様に小さな状態、早い段階で発見することが重要なのですね…。しかし、がんが小さいと症状も出にくいのではないのでしょうか？

先程の報告でも早い段階で膵がんが見つかった方の中で症状があった方は全体の1/4しかいません。

一方、症状がなくても健診やリスクがあり自ら積極的に検査を受けにこられた方、他の疾患で定期的に通院検査していた方から見つかった方が全体の7割をし

めていました。またそのときにエコー検査やCTの検査で膵に異常が見つかり、膵がんを見つけるきっかけになった方が90%であります。膵がんの好発年齢は60~70代の方。定年退職をされ、職場からの定期健診や人間ドックも途絶えたころを狙ってきます。今度はご自身で積極的に見つけにいく姿勢が大事だと思います。①ご自身のリスクを知り、②気になる症状を遠慮なく皆さまのかかりつけ医に相談し、③定期的な画像検査を実施することです。



帯広市では膵がん早期診断プロジェクトを立ち上げたことで、かかりつけ医の先生方と膵がんの画像検査が可能な我々協力病院の先生とがタッグを組んで、みなさんのリスクや症状、ご不安に応じて精密検査から定期的なフォローアップ、さらには治療まで実施していきます。

一今回のプロジェクトで北斗病院の特色を生かせるとしたら…

私自身先に紹介した、国内で膵がんの早期診断に力を入れている施設から3年前に着任しました。また前職が地理的に幸い日本で一番始めに膵がんの早期診断プロジェクトを開始した尾道市に近く、プロジェクト始動前からその先生との交流もあったため、膵がんを早期に発見するためのノウハウはあると自負しています。

北斗病院では平成15年にPETを導入しており悪性腫瘍の早期診断に取り組んでいます。また昨年11月には全道初となるデジタルPETを導入し、今後検出率の向上に期待が持てます。また膵がん治療の際には放射線治療(トモセラピー)はもちろん、膵がんを専門にしている外科の先生も今年の4月から着任されました。

また当院で手術を受けられた方は、術後抗がん剤治療時に効果予測が可能な、がん遺伝子検査も実施しております。

膵臓がんで足もとをすくわれないうちに検査から治療まで幅広く対応できる北斗病院を是非ご利用していただければ非常に幸いです。



北斗病院は
このプロジェクトに
参加しています。

膵がんの予後を改善し死亡を減らすことを目的に帯広市医師会のもと北斗病院、帯広協会病院、帯広第一病院、帯広厚生病院の消化器内科医が中心となって「膵がん早期診断プロジェクト」を立ち上げました。

北斗病院 消化器内科 胆膵部門医長 **河瀬 智哉**

平成15年川崎医科大学卒。日本消化器病学会専門医及び日本内科学会認定内科医として平成27年6月着任。日本膵臓学会、日本胆道学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本内科学会所属



—そもそも膵臓はどんな臓器なのでしょう？

膵臓は腹部消化器臓器の中でも一番背中側に位置し、その上を胃や大腸によって覆い隠されています。魚でいうとししゃもの様に細長く、長さは15cm～20cm程度で、厚さは2cm～3cm程と薄い臓器です。胃でくだかれた食事を分解するための消化酵素液(膵液)を分泌したり、インスリンと言って血糖を下げるホルモンを分泌する臓器でもあります。

—なぜ今、膵がんなのでしょう？

日本人の3大がんといえば、肺がん、大腸がん、胃がんですが、これに迫ってきているのが、膵がんです。統計によると膵がんの死亡者数は肝臓がんを抜いて3万人を突破し、2016年の統計では女性で膵がんの順位を上げた事が影響して、男女合わせ第4位に上り詰めています。

日本では早くから胃がんや大腸がんを始め健診などで、がんの早期発見に積極的な取り組みをしており、その成果として様々ながんで男女ともに死亡率を年々低下させる事が出来ています。肝臓がんも肝炎のウイルス治療が向上した成果が出始めてきています。一方その中で有効な予防や対策方法がないために、あとまわしにされがちであった膵臓がんの死亡率だけが年々増加しています。中でも北海道は膵がんでの死亡が全国に比べ125%(特に帯広の男性では140%)と非常に多くなっています。そのため、北海道における膵臓がん

の早期発見、治療が急務となっています。

〈表1 人口動態統計によるがん死亡データ〉

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女合計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

—膵がんの予後が良くならない理由は

膵がんの予後が良くならないのには、3つ理由があります。①症状の出にくさ、②発見の難しさ、③治療の難しさです。

①**症状の出にくさ**／先にも述べたように膵臓はお腹の臓器の一番深く、背中側に位置しています。その解剖的な位置からも初期に症状が出る方は1/3もいません。症状として黄疸、体重減少、背中での痛み、糖尿病の悪化などがありますが、黄疸以外は気付かれずに進行した状態で診断される事もあり得ます。

②**発見の難しさ**／膵がんの場合、初診時で9割以上の方は進行した状態で指摘されています。症状の出にくさで述べた様に、進行するまで症状が出ず、医療機関の受診や検査のタイミングを逃してしまう事も関連します。

③**治療の難しさ**／前述した解剖学的な問題に加え、膵臓周囲には重要な血管が多く走行しており、たとえ小さな膵がんであっても場所の問題で手術できない症例があります。また20年前と比べ、抗がん剤治療の選択肢も増えてきていますが、進行した状態で治療を開

医療機関の皆さまへ

ご紹介患者さまの事前予約方法

北斗病院では**地域医療連携課**経由での
ご紹介患者さまを受け付けております。**外来受診予約**は
FAX・お電話にてお申し込みください。



外来受診予約 お申し込み方法



(0155)47-3083

(0155)47-3093



「受診予約依頼票(様式1)※」を
ご記入のうえ、診療情報提供書と
一緒にFAXにてして送信ください。
※北斗HPよりダウンロードできます



日程・時間を調整後、「外来予約
確認票(様式2)」を返信致します。
診療科により、調整にお時間がか
かる場合がございます。



「外来予約確認票」は切り取って
下半分を患者さまにお渡しくだ
さい。

受診予約依頼票 (様式1)
〒0155-47-3083 FAX 0155-47-3083

〒0155-47-3093 TEL 0155-47-3093

※北斗HPよりダウンロードできます



受診予約
依頼票(様式1)
※QRコードより
ダウンロードできます



地域医療連携課へご連絡くだ
さい。必要事項(名前・診療科・希望
受診日など)をお伺い致します。



日程・時間を調整後、「外来予約
確認票(様式2)」を返信致します。
診療科により、調整にお時間がか
かる場合がございます。



「外来予約確認票」は切り取って
下半分を患者さまにお渡しくだ
さい。



「受診予約依頼票(様式1)※」を
ご記入のうえ、診療情報提供書と
一緒にFAXにて送信してください。
※北斗HPよりダウンロードできます

★救急のご依頼につきましては、医師の判断となりますので
直接担当医師(☎0155-48-8000)にご連絡ください。

★その他、PET検査依頼や受託検査依頼、また当院からの患
者さまの逆紹介などにつきまして、お手続きなどご不明な
点はご遠慮なくお問い合わせください。

【受診予約受付時間】

月～金曜:9時～17時 / 土曜:9時～12時

※上記時間以外も受付致しますが、返信は翌日または休日明けとなりますので、ご了承ください。

お問い合わせ:北斗病院 地域医療連携課

3回
シリーズ

足のリンパドレナージ①

～準備運動編～正しい手の使い方をマスターしよう

専門家が教える
本格的
マッサージ

第1回

手技の解説

リンパドレナージは次の2つの手技を使用して行なっていきます。

●手技「ずらす」

力を抜き、手のひら全体を密着させます。強さは手の重みがかかる程度。
(例：台所用スポンジのデコボコの部分だけがつぶれる程度の圧)
手のひら全体で柔らかく、ゆっくりと円を描きリンパ液を誘導します。
この時手は皮膚の上を滑らず、密着させたまま流したい方向に楕円を描く感じで行なっていきます。

●手技「流す」

手の重みは「ずらす」と同じです。
そのままの圧で皮膚をさするように行います。

体の奥にある
リンパ管の循環を
高めるために
行います。

リンパドレナージの前に行う準備運動



- ①肩回しを10回程度行います。鎖骨が動くように、後ろに大きくゆっくりと回します。
- ②深呼吸を10回行います。下腹部に手を置いて、お腹がしっかりと上下するように行います。



次回はリンパ液の回収先を活性化させていきます。

むくみやすい足の
マッサージ方法を
3回にわたりお教
えします!



十勝リンパ浮腫治療センター

阿部 聡

専門家が教える
健康
レシピ

第1回

むくみを取ってスッキリ! むくみ解消献立

豚肉のマリネ

栄養価

エネルギー	304KCal
たんぱく質	16.8g
脂質	16.4g
塩分	0.1g
カリウム	514mg

作り方

- ①豚肉は沸騰したお湯に入れて表面が白くなったら取り出します。鍋に豚肉がひたるほど水を入れ、酒、生姜、ネギを入れて煮立たせる。沸騰したら10分程してから火を止めて蓋をし、そのまま冷やす。
- ②玉ねぎとアボガドは薄切りにし、胡瓜とミニトマトはへたを除いて輪切りに切る。
- ③ボウルにマリネ液の材料を加えよく混ぜておく。
- ④容器に②の材料とスライスした豚肉を入れ、③のマリネ液を加えて10分以上漬ける。

※豚肉は熱湯でくまみを取って、水から茹でるとしっとり柔らかく仕上がります。



材料(2人前)

- 豚モモ肉(ブロック)..... 70g
 - 玉葱(1/4個)..... 40g
 - 胡瓜(1/4本)..... 25g
 - アボガド..... 10g
 - レモン(輪切り1/2枚)..... 4g
 - ミニトマト(1個)..... 20g
- マリネ液
- 酢..... 大さじ4
 - オリーブオイル..... 大さじ1
 - レモン汁 小さじ1
 - はちみつ 小さじ2
 - 塩こしょう... 少々

塩分を体の外に出してくれるカリウム豊富な野菜と代謝を高めるクエン酸のW効果で、むくみを撃退!! おすすめレシピです。



栄養科主任 管理栄養士
梅木美奈子

2018年7月 ホームページが変わります。

2001年11月に開設したホームページも、今年で17歳になります。

ホームページは1995年(平成7年)7月から院内向けに運用されていたものを
2001年(平成13年)11月に完全リニューアルし、一般向けに公開しました。
そして2018年——また新たな進化の時を迎えます。

ご期待ください。

近隣医療機関の皆さまへ 医療関係者向け講演会

「がん幹細胞形質に関与する
転写因子に対する分子標的治療薬の
創製に向けた開発研究」

講師 東京大学 医科学研究所 谷口 博昭氏

6/28(木) 17:45～

お問い合わせ
☎0155
48-8000

北斗病院 新館5階大会議室

出展作品募集中

当院内にあるアートギャラリーにて地
域の皆さまの作品を展示しています。
絵画や写真、陶芸、手芸品など素敵
な作品を出展してみませんか？

お問い合わせ

北斗病院 地域交流委員会アートギャラリー係

☎0155-48-8000(代表)

時間:月曜～金曜 9時～17時



講演会承ります!

北斗病院の職員が出張講演いたします。

医師や看護師、ソーシャルワーカーなどの人材から
多種多様なお話を聞く機会を企画してみませんか？

講演会を依頼されたい方はお気軽にお問い合わせください。

☎0155-48-8000(北斗コールセンター)

社会医療法人 北斗



北斗病院



■関連施設

北斗病院 (帯広市)
北斗クリニック (帯広市)
十勝リハビリテーションセンター (帯広市)
サービス付き高齢者向け住宅「あやとり」 (帯広市)
十勝自立支援センター介護老人保健施設「かけはし」(帯広市)

あおぞらクリニック/ほくと自立支援ホーム (帯広市)
上士幌クリニック/介護老人保健施設かみしほろ (上士幌町)
新得クリニック (新得町)
熊谷総合病院 (埼玉県熊谷市)
HOKUTO画像診断センター (ロシア・ウラジオストク)
HOKUTOリハビリテーションセンター (ロシア・ウラジオストク)

